

プログラム名	<b>企画・立案・申請書（企画書）の書き方</b>							
実施日	2017年 4月 1日 ~ 2017年 4月 30日							
実施場所と定員	山口大学内 (定員) 名							
担当	(部署) 大学教育機構 (学生支援C) (担当者) 辻 多聞							
プログラム概要	<p>学生時代には様々なタイミングで企画や立案を行なう。一般に企画の実行は複数人で行なうことが多く、自身の企画を分かりやすく企画書としてまとめ他者に伝えたり、グループの共通認識として企画書を共有したりすることが、その成功へとつながりやすくなる。また企画の実施には資金が必要であり、企画書を資金支援申請書としてまとめることも少なくない。このプログラムでは企画・立案におけるポイントをメールをはじめとした相談を通じて学ぶとともに、それを企画書（申請書）としてまとめて、さらに教員からのコメントをもとに、より分かりやすいものへと改善していくことを目的とする。おもしろプロジェクトに応募するものは、このプログラムをできるだけ受講することとする。</p>							
<p>到達目標に関する各項目の重要度</p> <p>◎：非常に重要 ○：重要 ・：考慮する</p> <p>(丸印は計4つまで)</p>	<p>＜驚き＞ 世界や社会にいつも驚きを感じ、過去・現在・未来に問いを甦し続けます</p>	【A】驚き	<ul style="list-style-type: none"> <li>驚きを大切に、「自ら」が考え・判断・表現・行動・発言する能力を養います</li> </ul>	◎				
	<p>＜個性＞ 他人と競争し、打ち負かすのではなく、自分を発見し、はぐくみ、世界でたったひとつの存在になります</p>	【C】個性	<ul style="list-style-type: none"> <li>個性を大切に、心身ともに豊かな人間性と『美』を発見するところをはぐくみます</li> </ul>	・				
	<p>＜出会い＞ 自分のうちに閉じこもらず、自分を超越してひとに出会い、出会いをはぐくみ、つながりを築きます</p>	【E】出会いと交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>出会いと交流の中で、歴史と伝統を重んじつつ、異文化を受け入れるところを養い、地域社会と国際社会への責任感や義務感を培います</li> </ul>	・				
	<p>＜夢＞ 過去を受け継ぎ、現実をみすえながら、夢を発見し、夢をはぐくみ、夢をかたちにします</p>	【G】夢	<ul style="list-style-type: none"> <li>夢を描き続け、自らが生涯を通じての『知の探求者』になる「礎」を築きます</li> </ul>	◎				
	<p>ALポイント 認定制度</p> <p>5.0 pt</p>	<p>グループワーク ディスカッション・ディベート フィールドワーク（実験・実習、演習を含む） プレゼンテーション 振り返り 宿題</p>	中	中	少	-	-	-
	<p>4月上旬：企画立案に関する相談受付 4月中旬：企画書（申請書）の作成と教員への1次提出 4月下旬：添削結果の受け取りと修正 (おもしろプロジェクト申請者は申請書として提出)</p>							
	<p>プログラム詳細 (スケジュール等)</p>							
	<p>到達目標（汎用的能力）</p>	<p>このプログラムのALの特徴</p> <p>企画立案は一人ですべて行なうよりも、指導を受けつつ、複数人によるグループワークやそこでのディスカッション・ディベートを繰り返すほうが、より具体性を増したものへと改善できる。また適宜フィールドワークで現状を知ること、さらにより良いものへと変わっていくであろう。本プログラムでは実施内容としてALポイントに該当することは直接的には含まれてはいないが、進めていく中で必然的にALポイントにつながる行為が必要である。よって、上記に示されるALポイントはおおよそのものであり、学習者の意欲によってさらに高いALによる効果が得られると思われる。</p>			<p>問い合わせ</p> <p>●自主活動ルーム： omopro@yamaguchi-u.ac.jp 083-933-5087</p> <p>●辻研究室： ttsuji@yamaguchi-u.ac.jp 083-933-5073</p>			